

瑞穂っ子だより

～ かしこく やさしく たくましく ～

例年になく雪の多い今年の冬でした。3学期に入って3日間もの大雪による休校と、インフルエンザの影響による学級閉鎖が続き、学校の教育課程や行事に支障を来さないか心配をしながら2月を過ごすことになりました。お陰様でどの学年も今のところ決められた学習時間を確保し、それぞれの学年で学ばなければならない内容については修了することができる予定です。

いよいよ、3日後に迫った卒業式ですが、全校あげて思い出に残る卒業式になるよう練習を重ねています。

<3月13日(火) 卒業式練習の様子より>



「伝えよう！ 感謝の思い 見えるよに」

このスローガンをステージに掲げ、体育館での卒業式練習を行っています。全体練習に先駆け、6年生だけで始められた練習では、6年間の成長を伝えられるように、厳かな儀式に臨む心構えを大切に、真剣に練習に取り組んでいました。

また、今週から本格化した全校練習では、歌や送る言葉の練習で、どの学年の児童も自分の役割を果たそうと精一杯の声を出し、力を合わせて取り組んでいます。1～5年生は6年生への気持ちをどうすれば見える形にできるのか、それぞれに考え実行に移そうとしています。また、6年生は、6年間お世話になった方々への感謝の気持ちや家族への思いを伝えられるように真剣に練習を重ねています。

第12回卒業式を迎え、今年初めて校歌を二部合唱で歌います。高学年と低学年にわかれ、心を一つに美しいハーモニーが体育館いっぱい響き渡るように頑張ります。

ある人の言葉です。「厳粛な空気の中で行われる儀式を初めて体験するのは、小学生の時です。中学生では公立高校入試と合格発表がその前後にあり、そう何回も練習することなく本番に臨みます。また、高校ではさらに練習回数もそれほどなく式に臨むことが多いようです。」と。そう考えると、小学校で経験する儀式に臨む心構えや立ち居振る舞いの練習の重要性は大きいものかもしれません。気持ちを形にすることの難しさは大人でも同じですが、見えるようにして伝えようとする気持ちが大切なのだと思います。卒業式本番はもう間近です。瑞穂らしく、温かな式になるよう児童も職員も心一つに取り組もうと思います。

おしらせ

上中山町在住の村本義雄さんから、本校の子どもたちにと「いしかわ動物園」の招待券をいただきました。30枚と数に限りはありますが、中学生以下のお子さんが入場できます。入場可能な期間は3月31日までとなっています。

もし、春休みにいしかわ動物園に足を運ぶ機会があるご家庭は学担を通じてご連絡いただければお子さんに招待券をお渡ししますのでご希望の枚数をお伝えください。この機会にいしかわ動物園の「とき」を見学するのもよいかもかもしれませんね。

